

早雲だより

2025.6.25
第167号
歴史グループ早雲

第一八四回 歴史ハイキング 報告

栗田口・蹴上界隈散策

京津線栗田口廃線跡・旧・東海道・南禅寺水路閣

2025年3月23日(日)

はじめに

例会はハイキング日和の好天に恵まれた日になりました。桜の開花には少し早かったようですが、そのため行楽客も少なく散策には良かつたと思います。

京都市営地下鉄蹴上駅に集合しました。本日は歴史グループスタッフの入江さんと村田さんに企画をお願いしました。村田さんの旧東海道にまつわるクイズの後栗田口・蹴上界隈をめぐる散策に出発しました。参加者は一人のようです。

ハイキングの概要

今回のハイキングでは琵琶湖疏水の役割がクローズアップされたように思います。入江さんの詳細な説明で蹴上界隈の今に残る風景は琵琶湖疏水に関係していることを痛感しました。

(コース)

蹴上駅→蹴上交差点(蹴上堺電所)→(栗田口線廃線跡)→東山三條→古川商店街→旧・東海道→栗田口→栗田神社→蹴上交差点→インクライン→疏水記念館→南禅寺水路閣→疏水分線→蹴上疏水公園→日向大神宮参道→蹴上駅

琵琶湖疏水

現在でも琵琶湖疏水は、水道用水、発電用水、かんがい用水、工業用水を供給するなど様々な都市活動を支える基盤施設です。

琵琶湖疏水には第一疎水、第二疎水、疎水分線があります。

第一疎水と第二疎水は大津市三保ヶ崎の集水点からほぼ並行して流れこの蹴上で合流しています。この蹴上は琵琶湖疎水の要となる場所で、様々な機能が集約されています。



(写真) インクライン

蹴上には1912年(明治45年)に設置された蹴上浄水場、

日本初の商業用である蹴上発電所があります。そのほかに舟運用のインクラインも設置されています。また、蹴上からは南禅寺水路閣から哲学の道へ流れています。

いぐ疎水分線が分岐しています。



(写真) 水路閣

琵琶湖疏水は多目的に利用されてきましたが、その目的はその主目的は何度も変遷を重ねています。当初は水力利用だったが、

水力発電による電力利用に変わった。電力は京都発展の一原動力となり、1893年(明治26年)には日本初の路面電車

が京都～伏見駅間に開通した。

回顧と結んだ。締結式で、松井幸治市長は「疎水は長い間京都のまことに文化を支えてきた。」と語った。

京津線廃線跡



(写真) 琵琶湖疎水分線

蹴上発電所は第二期建設のものが現在も発電を続けています。

本日、散策する京津線がこの発電所の電力を使つたことは間違いないでしょう。

疎水について語ると紙面が足りないので最後に疎水感謝金について。

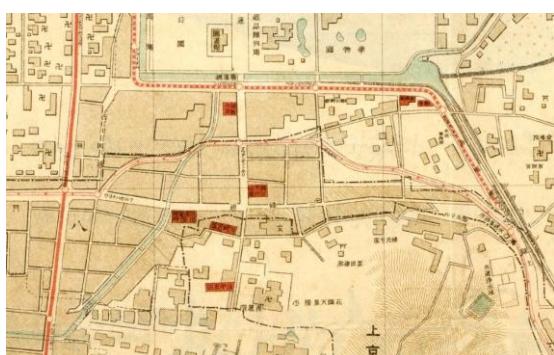
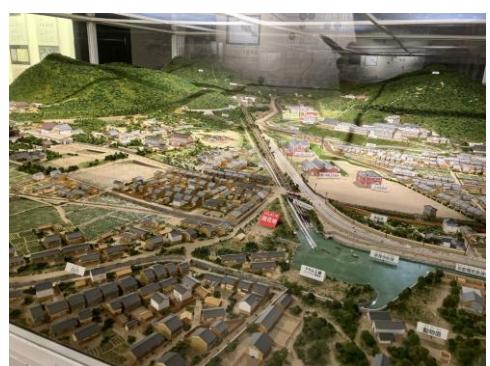
「琵琶湖を主な水源として水道水に利用し、滋賀県に毎年感謝金を払つてゐる京都市は2025年4月2日、今年度1の31年、三条通の拡張にあわせて、古川町・蹴上間は

から10年間の感謝金を年2億3000万円とする契約を

往来が盛んで、京都駅から六地蔵を経由する巡回の東海道線とは別に、市の中心部

を直結する鉄道が望まれていた。1912年(大正元年)、京都・三条大橋と大津・札道間を結ぶ鉄道「京津電気軌道」が開業。この路線は三条大橋から山科のほとりの区間で三条通の上を走つていたが、東山三条の古川町駅(現・東山駅)から蹴上駅の区間は、当時幅が狭かつた三条通を避け、北側の住宅街を弧を描くように迂回した。京津電気軌道は1923年に京阪電鉄と合併し、京阪京津線となる。

(写真) 疎水記念館ジオラマ



(写真) 疎水記念館ジオラマ

宅街を走る旧線は廃止された。この迂回路線は19年と短命だったが痕跡は今も残つてゐる。例えば三条通北側の住

宅街を歩くと、東西の通りに對して垂直に並ぶ町家の中に、ななの建物が突然現れるが、これはかつての線路敷を転用したもの。一帯は古い町家や区画が残り、道の曲がり具合や建物の古さに注目すると線路の跡を辿ることができます。今日の旧京津線跡廻りは、旧蹴上駅跡を出発し、東山三条の少し東、旧古川町駅跡まで探索です。左の写真は蹴上発電所の発電で京都はいわ早く電車を走らすことが可能だ。



(写真) 蹴上発電所



(写真) 廃線跡・蹴上



(写真) 廃線跡・蹴上



(写真) 廃線跡

一 口 感 想

◇◇◇
M・M

【編集後記】

た。今回もよしかしたら
旧? 東海道を古川商店街
から栗田神社まで巡りま
した。



(写真) 廃線跡・白川

田?・東海道



(写真) 栗田口付近

東山三条からは田?・東
海道をたどった。三条通
の横断歩道を渡り古川町
商店街を一筋南で東に向
かう。近世の東海道は三
条大橋から三条通を東へ
向かうがそれ以前の東海
道は栗田口付近では栗田
神社に参詣するため南に
迂回していたようです。



(写真) 栗田神社

栗田神社は京の七口の一
つである栗田口に鎮座し、
古くから旅立ち守護の神
として崇敬を集め、まし

た興味深かったです。また旅
立たの神を祀る「栗田神社」
を初めて訪れることが出来認
識を新たにしました。

◇◇◇

Y・M

上げた先人の先見の明を感じ
心!

案内して貰った方々の
詳しく述べて下さった資料の準
備に心から感謝でござります。

◇◇◇

祝・国宝指定

道、栗田神社などの説明をク
イズ形式でさせていただいた。
その話の中で皆様より、今は
じつこの見解が出てきている
じつ話をいただき私自身も
非常に勉強になった。今後も
また私が説明を担当する」と
もあわと思つので、これらを
なじみを教えていただければ
うれしい。今から次回の散策
が楽しみだ。

役員の皆様のお世話で歴史ハ
イキングを楽しめていただ
きました。詳しい説明のも
とで「京津線栗田口廃線跡」を
巡りましたが、なかなか経験
の出来ない京都の裏道をたど
り興味深かったです。また旅
立たの神を祀る「栗田神社」
を初めて訪れることが出来認
識を新たにしました。

◇◇◇

H・M

役員の皆様、参加の皆様、あ
りがとうございました。快晴
に恵まれ、季節良し、花良し
参加者良し、そして講師良し
の素晴らしい一日でした。ま
た、身近な街であつながら、
私は知つてゐるより知らない
ことが一杯!

明治初期に蹴上疏水を作り
上げた先人の先見の明を感じ
心!

案内して貰った内容をまじ
めに語り下さった感謝でござ
ります。また良く訪れる京都市内
の街角の魅力を再発見できま
した。

◇◇◇

◇◇◇
M・M

【編集後記】

今回のハイキングは歴史グル
ープスタッフの入江さんと村田
さん企画をお任せしました。
各場所で詳細な解説並びにクイ
ズなど交えての散策はいつもど
おりました。例会になつたと思
います。また良く訪れる京都市内
の街角の魅力を再発見できま
した。

役員の皆様、参加の皆様、あ
りがとうございました。快晴
に恵まれ、季節良し、花良し
参加者良し、そして講師良し
の素晴らしい一日でした。ま
た、身近な街であつながら、
私は知つてゐるより知らない
ことが一杯!

案内して貰った内容をまじ
めに語り下さった感謝でござ
ります。また良く訪れる京都市内
の街角の魅力を再発見できま
した。

琵琶湖疏水の一部施設が、
近代土木構造物として初め
て国宝に指定されることにな
りました。具体的には、
南禅寺水路閣、第一隧道、
第二隧道、第三隧道、イン
クラインの5つの施設が国
宝に指定されます。